



第3回横浜グローバルMICEフォーラム — Reimagining the Destination of Choice for Business Events —

COVID-19の世界的な感染拡大により、多くの会議・イベントが中止・延期を強いられた2020年。その中でもオンライン会議システムや仮想空間を利用したバーチャル開催、ハイブリッド会議、XRの導入などが試みられ、今やMICEのランドスケープは一変しました。テクノロジーはこの先も、ビジネス・イベントのあり方、発展の可能性を豊かに広げていくはずですが、一方で、対面のコミュニケーションでしか実現することのできない価値があることも明らかです。

同時に、これからのMICEの復活・再生は、コロナ禍が浮き彫りにした様々な現代の課題を見つめなおし、克服しつつ、イベントの開催がより良い社会の実現に貢献することを目指し、進んでゆくべきと考えます。

そのような中で、MICE開催地への期待はどのように変化していくのか、MICEパートナーとして選ばれる存在であるにはどうあるべきか、日本と世界のMICEプロフェッショナル達が、パシフィコ横浜ノースの会場とオンラインプラットフォームに集い、MICEの未来について議論を交わしました。

パシフィコ横浜の「[感染防止ガイドライン](#)（開催時第20版）」及び「[安全・安心な横浜MICEガイドライン](#)」に準拠し、十分な感染症予防対策を講じた上で開催いたしました。

会議の名称

和：第3 横浜グローバルMICEフォーラム
英：The 3rd Yokohama Global MICE Forum

主催 株式会社横浜国際平和会議（パシフィコ横浜）

共催 横浜市

後援 (一社)日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)
(一社)日本コンベンション協会(JCMA)
(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー

フォーラム・サポーター

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル
ヒビノメディアテクニカル株式会社
株式会社放送サービスセンター

会期 2022年1月27日(木)

2022年3月3日(木)にラップアップ・ウェビナー開催

開催形式 ハイブリッド

(現地会場／ライブ配信／開催後1か月にわたりオンデマンド配信)

開催場所 パシフィコ横浜ノース

(神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2)

テーマ

和：選ばれる開催地であるために
英：Reimagining the Destination of Choice for Business Events

Forum supporters



Forum partners



ノース現地会場



オンラインプラットフォーム
Zoom Events

登録者数

196

来場者数

101

ライブビュー

95

スピーカー

15

参加者数内訳

	登録者	会場参加		オンライン参加	
		国内	海外	国内	海外
レギュラー	133	67	66		
招待者	21	8	10	3	
スタッフ	27	17	10		
スピーカー	15	9	1	5	
計		101	87	8	
	196	101	95		

参加者属性

・業種 ・業界年数 ・所属団体

会場	25
PCO	21
CVB/DMO	11
旅行代理店	10
プランナー	4
アソシエーション	3
技術系サプライヤー	2
その他	34

5年未満	41
20年以上	26
5~14年	22
15~19年	10
経験なし	6

JCMA正会員	60
JCCB	49
ICCA	42
YCVB	41
MPI	8

プログラム

10:00 - 10:45 Outside the Box 心を整える ~ 坐禅体験

本来は会場の外へ飛び出す「Outside the Box」ですが、お寺に参るのではなく、フォーラム会場に坐禅のご指導にきていただき「心を整える」坐禅体験の時間をもちました。60人ほどの参加者が、曹洞宗大本山總持寺 参禅室長 花和浩明老師から坐禅の手ほどきを受け、椅子を会場の壁に向かって並べて、実際に「椅子坐禅」に挑戦しました。



11:00 - 12:00 大人のためのプレ・カンファレンス講座

世界計算力学学会議 WCCM-APCOM 2022編

~計算力学って何を計算しているの?~

2022年7月31日から8月5日にかけて、パシフィコ横浜を会場に「第15回世界計算力学学会議 WCCM-APCOM2022」が開催されるのに先駆けて、「大人のためのプレ・カンファレンス講座」と題し、会議を主催する先生方に「計算力学」という研究分野についてご紹介いただく機会をもちました。

WCCM-APCOM2022組織委員会 議長、東京大学の越塚誠一教授、WCCM-APCOM2022組織委員会 事務局長 & 副議長の東北大学の寺田賢二郎教授、サイバネットシステム株式会社の井上 岳氏にご登壇いただきました。



12:00 - 13:00 ランチ試食会 — InterContinental Yokohama Grand 特製 — 地産地消・持続可能な食材弁当

地元・横浜や神奈川の食材を取り入れた特性弁当をご用意、ホテルご担当者からの説明も添え、黙食にいただきました。

13:00 - 13:10 オープニング / Opening - welcoming messages

- 額田 樹子 株式会社横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）代表取締役社長
- 神部 浩 横浜市 文化観光局長

13:10 - 13:40 オープニング・キーノート / Opening Keynote

国際会議とともにあるグローバル・コミュニティ ~ ACM CHI 2021 Online の開催経験

Global Community with International Conferences - Experience of Organizing ACM CHI 2021 Online



北村 喜文 教授 / Dr. Yoshifumi Kitamura

東北大学 電気通信研究所 教授・副所長 / ACM CHI 2021 General Chair
Deputy Director and Professor, Research Institute of Electrical Communication,
Tohoku University
ACM CHI 2021 General Chair

2021年5月に完全オンラインで実施されたCHI 2021（コンピューター・ヒューマン・インタラクションの分野の最大の会議）でGeneral Chairを務めた北村教授より、「誰もが安全に参加できるインクルーシブでアクセシブルな会議」を基本姿勢としたというCHI2021のご経験について伺いました。

13:10 - 13:40 Session 1 コロナ禍からのより良い復興をめざして



Moving Forward with Confidence

フランク・ヤン / Frank Yang, CMP, CEM, PMP, DES

KINTEX ディレクター、コンベンション・マーケティング
Director, Convention Marketing, KINTEX

井上 義則 / Yoshinori Inoue

株式会社八芳園 取締役社長 / President, HAPPO-EN Co., Ltd.
井上氏は当日、都合によりご出演がかなわず、コーポレートイベントプロデューサー グローバルセールス
高橋 直樹 氏にご登壇いただきました

[Host] 馬鳥 誠 / Makoto Batori

パシフィコ横浜 取締役兼営業推進部長
Executive Director, PACIFICO Yokohama

会場をビジネスの核とする両者から、コロナ禍でイベント開催に様々な制約が生じるなかでのDXの取組についてお話をお伺いしました。KINTEXのフランクからは、韓国でのハイブリッドスタジオなどの設備状況、業界団体の支援によるデジタル人材育成、ビジネスの再開にむけた政府へのロビー活動など、八芳園・高橋氏からは、「人材不足」の課題から八芳園で進められてきたオペレーション改革について、またその取り組みにおいて「間（あわい）」という日本文化の思想を取り入れ、「間×DX」のコンセプトのもとコロナ禍のイベントを実現してきたことなどを、ご紹介いただきました。

15:15 - 16:15

Session 2 アジア・パシフィックのMICEの未来



Future of Business Events in Asia Pacific co-hosted by JCMA

ワイキン・ウォン / Waikin Wong

国際会議協会 [ICCA] アジア・パシフィック事務局長
Regional Director, ICCA Asia Pacific

ヒョイン・ソン / Hyo-in Son

KINTEX、コンベンション・マーケティング・アシスタントマネージャー
Assistant Manager, Convention Marketing, KINTEX

アシュウィン・グナセケラン / Ashwin Gunasekaran

ペナン・コンベンション&エキシビション・ビューローCEO、国際会議協会 [ICCA]
アジア・パシフィック部会長
CEO, Penang Convention & Exhibition Bureau [PCEB],
ICCA Asia Pacific Chapter Chair

武内 紀子 / Noriko Takeuchi

日本コンベンション協会 [JCMA] 代表理事
株式会社Congre 代表取締役社長
President, Japan Convention Management Association,
President of Congrès Inc.

[Host] 武澤 桂一 / Keiichi Takezawa

パシフィコ横浜 誘致推進課 係長
Manager, Sales & Marketing, PACIFICO Yokohama

ICCAアジア・パシフィックの新事務局長ワイキン・ウォン氏からは、安心・安全は今や優先事項、テクノロジー対応能力の重要性など、会議業界における現状分析を、ICCA Future Leaders CouncilメンバーでもあるKINTEXのソン・ヒョイン氏からは、いかにソーシャル・サステナビリティへの注力が会議業界の未来にとって重要であるかを描き出したFLCの白書について共有いただいた後、セッションの後半には、JCMA代表の武内紀子氏のモデレーションのもと、ICCAアジア・パシフィック部会長のアシュウィン氏も加わり、JCMA会員から事前に集められた質問を投げかける形でパネルディスカッションが行われました。

16:45 - 17:45

Session 3 選ばれる開催地であるために



Reimagining the Destination of Choice for Business Events

廣瀬 明 教授 / Dr. Akira Hirose

東京大学
第39回 地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム組織・実行委員長
Professor, The University of Tokyo
General Chair of IEEE IGARSS 2019 Yokohama

カローラ・ファン・デル・フーフ / Carola Van der Hoeft

国際薬学師・薬学連合[FIP] COO兼コンgres・ディレクター
COO & Congress Director,
International Pharmaceutical Federation [FIP]

[Host] 村山 公美 / Hiromi Murayama

パシフィコ横浜 誘致推進課 係長
Manager, Sales & Marketing, PACIFICO Yokohama

横浜に縁のある二人の会議主催者から、コロナ前後での会議開催の目的の変化、開催地への期待について伺ったこのセッションでは、廣瀬教授から、2019年のIEEE IGARSSで実施されたソーシャルプログラムの事例を挙げながら、対面の会議がもたらす効果について、カローラ氏からは、FIP自体がイベントからの利益にたよる収益構造を見直し、会員へのエンゲージメントを強化するなどの変革を行ったこと、世界トップの専門家が集まり知識の共有・交換をする会議は、開催地の会員団体を助け、自治体・政府に課題解決の提案をする機会でもある、というリアル会議開催の意義について共有いただきました。

Pitch

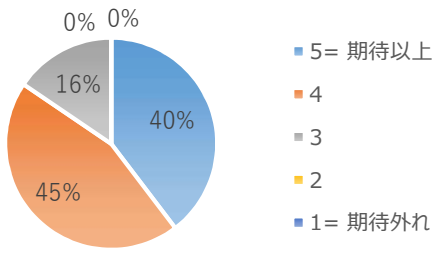
「GBAC STAR™」認証プログラムのご案内 / ユニバーサルサービスについて



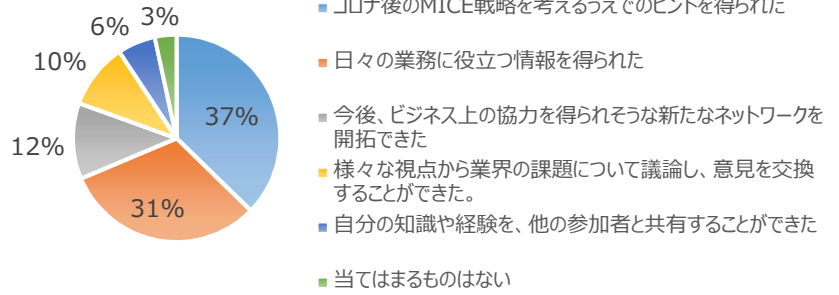
今回のフォーラムでは、各コーヒープレイクの前に行ったピッチセッションでは、**川村 育太郎 氏**(サクラインターナショナル株式会社 事業推進室 室長)がGBAC STAR認証について、**伊藤 慎抄子 氏**(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、人事担当マネージャー)が、ユニバーサルサービスの取組について5分間のプレゼンを行いました。休憩中には引き続きラウンジにて参加者からのご質問にお答えいただきました。

参加者アンケート結果(抜粋)

Q フォーラムは期待通りのものでしたか



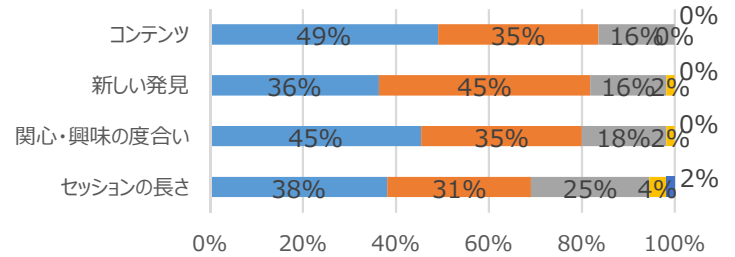
Q フォーラムについて当てはまるものすべてにチェック



Q フォーラムで得られた最も重要なこと

- 主催者と受入側の間の信頼関係の構築の重要性を再認識した。
- コロナ禍におけるMICEの最新状況と、それに対応するために開催地に必要とされるサービスや姿勢
- 日本以上にアジア各地でMICEへの取り組みがされており、今後は国内での誘致合戦だけでなく海外とも競争が激化していくのだろうと学んだ。
- 海外MICE産業におけるデジタル化取組の重要性。

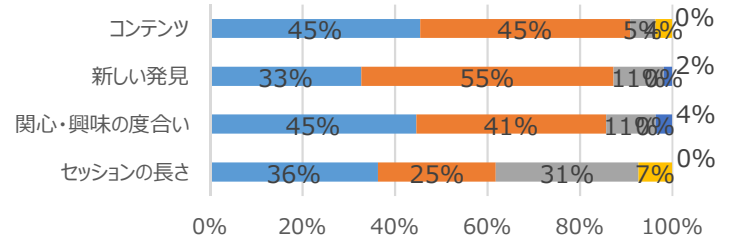
Q セッション1「コロナ禍からのより良い復興をめざして」



Q 今後扱ってほしいテーマや内容、開催方法

- 今後も、会議開催経験のある主催者の方からお話を聞けると良い。
- ヨーロッパ/アメリカの動向も知りたい。
- デジタル化に取り組む施設の収支の変化
- アフターMICEの交流パーティーについての在り方。
- 会議や施設におけるSDG s・Equalityの取り組み状況。

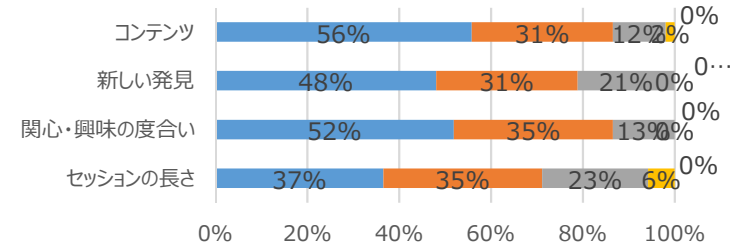
Q セッション2「アジア・パシフィックのMICEの未来」



Q 改善のためのご意見

- オンラインでのイベント参加が続いたので、坐禅体験や地産地消・SDGsを意識したお弁当ランチなどのコンテンツは、久しぶりのリアル参加に大きな意義を見出すことができた。
- 会場運営をしていくうえで、リアル開催の促進、選ばれる会場づくりのヒントをたくさん得ることができた。
- 坐禅体験がとてよかった。
- オープニング・キーノートには、今後の会議のあり方について考えさせられるポイントが多く、たいへん良かった。
- セッションのみならず商談会や展示ブースがあってもよい。
- 特にピッチプレゼンなどは良い転換になりそうで、もっとブレイクダウンしたコンテンツも良いと思った。
- サブの中継会場を設置される試みは参考になった。

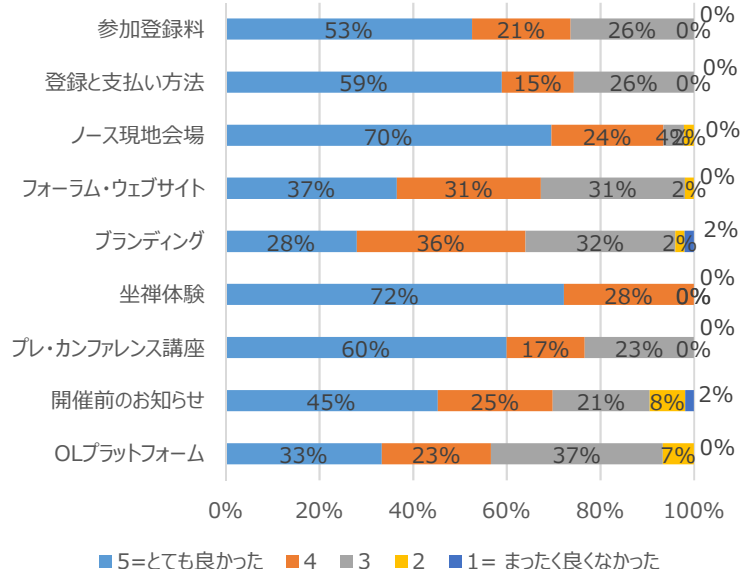
Q セッション3「選ばれる開催地であるために」



Q 今後の役に立つ情報を得られたか？

- 施設であるパシフィコ様が企画案なども提供されていることも知り素晴らしいと思いました。主催者の立場にたつてサポートすることの重要性を再認識しました。
- 地域に還元するということを街全体で意識されていると感じました。
- 当地域の取組みについての課題を多くいただきました。
- 主催者の目線からいろいろな考えを聞かせていただき、参考になった。
- 次世代育成事業が学会参加者にとって非常に興味深いものであり、日本を知っていただくうえでもとても良いメニューになっていることをお話を伺って実感しました。

Q 各項目の評価



Q 同僚や知人にフォーラムをお勧めしますか？

